



# 第28回 定時株主総会 招集ご通知

日時

2026年8月19日（水曜日）  
午前10時（受付開始：午前9時）

場所

石川県金沢市本町2-15-1  
ホテル日航金沢 4階 鶴の間

## 株主総会にご出席されない場合

書面又は電磁的方法（インターネット等）により議決権を行使くださいようお願い申し上げます。

議決権行使期限

2026年8月18日（火曜日）午後5時まで

株式会社 クスリのアオキホールディングス

証券コード 3549

# クスリのアオキの次なる成長に向けて



クスリのアオキは2025年1月に設立40周年を迎え、店舗数においても1,000店舗の大台を突破いたしました。1985年の設立以来「健康と美と衛生」を通して社会に貢献することを変わらぬ経営理念に掲げ、地域になくてはならないドラッグストア・調剤薬局を目指し、皆様の温かいご支援のもとで成長を続けてまいりました。

当社グループは2035年の売上高1兆円、小売業上位20社ランクインを目指す「50周年ビジョン」ならびに次なる成長に向けた「第4次中期経営計画」を策定し、以下の3つの重点戦略を推進しております。

第一に、「生鮮ノウハウの向上」です。地域の食インフラとしての役割をさらに深めるため、自社出店の大型化やM&Aを活かした生鮮ノウハウの獲得を進めております。これにより、2025年5月期に588億円（売上高構成比11.7%）であった生鮮食品の売上高を、2030年5月期には1,300億円（同16.2%）へと拡大させ、より利便性の高い店舗づくりに努めてまいります。

第二に、「収益構造の強化」です。お客様の多様な生活ニーズに寄り添い、あんしん品質・なっとく価格を両立した自社PB（プライベートブランド）である「A&（エーアンド）」のラインナップをより一層強化してまいります。2025年5月期に300億円（同6.0%）であったPB売上高を、2030年5月期には800億円（同10.0%）へと向上させ、競合他社との差別化とグループの収益性改善を同時に実現してまいります。さらに、調剤事業では、増患取り組みの継続と調剤併設率向上により、2030年5月期に調剤売上高1,000億円を目指し、店舗収益性の向上に加え、地域のかかりつけ薬局としてお客様に安心してご利用いただけるサービスを提供いたします。

第三に、「M&Aの推進」です。当社グループは第4次中期経営計画期間内で400出店を目指しており、うち3割をM&Aで補完する計画でございます。生鮮ノウハウを中心とする人材確保と大型店舗の安定的な獲得を実現し、出店エリア拡大と早期収益化を目指してまいります。

また中長期的な企業価値の向上とあわせ、株主の皆様への還元をより一層強化するため株主還元方針の抜本的な見直しを行い、配当性向を30%とすることにいたしました。

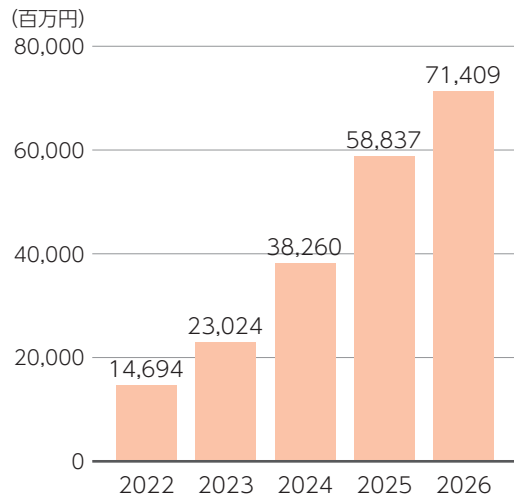
これからも誠実にお客様の生活に寄り添い、利便性と収益性の高い店舗づくりを追求するとともに、さらなる成長を目指して挑戦を続けてまいります。今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## もっと便利に、ずっと笑顔で。

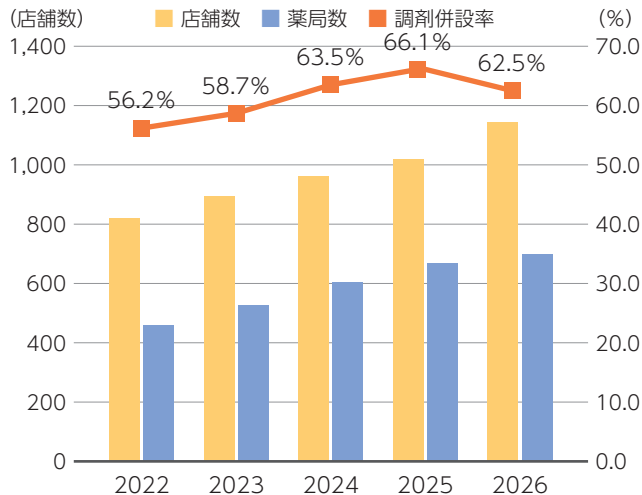
あなたの町で、「便利な暮らし」と「笑顔につながる健康」を支えるドラッグストアを目指して



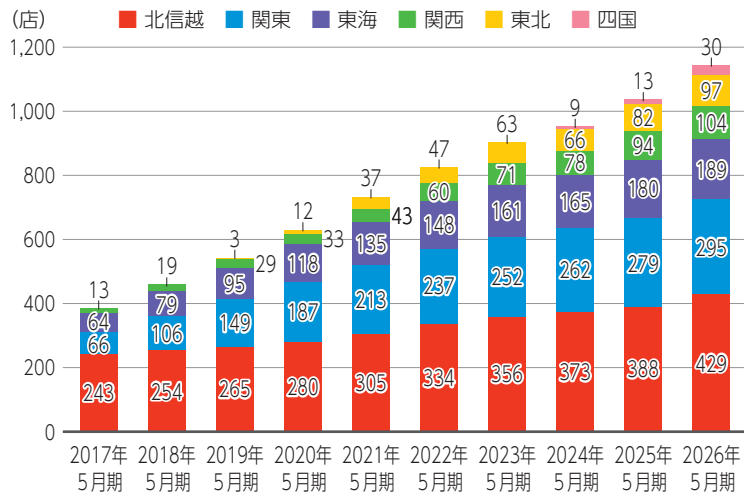
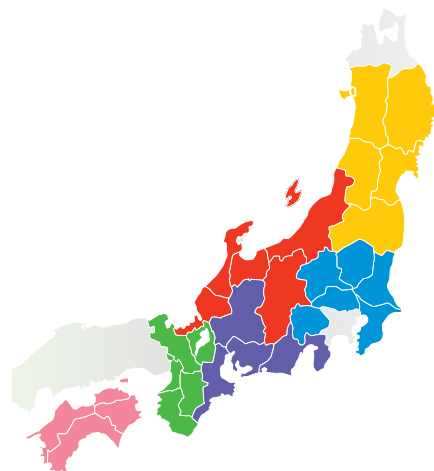
## 生鮮売上高の推移



## 調剤併設率



## エリア別店舗数



## ご挨拶

---



株主の皆様には、日頃より格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、前中期経営計画において掲げておりました「売上高5,000億円」の目標を1年前倒しで達成することができました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様の温かいご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

この成果を次なる成長への足がかりとし、当社グループは新たに2026年5月期を初年度とする5ヵ年の新たな成長戦略「第4次中期経営計画」ならびに設立50周年を見据えた「50周年ビジョン」を策定いたしました。第4次中期経営計画の最終年度である2030年5月期に「売上高8,000億円」「営業利益440億円（5.5%）」の達成を掲げ、さらにはその先にある「売上高1兆円」の実現を目指してまいります。

当社は生活インフラとしての地位を確固たるものとし、お客様にとっても株主の皆様にとっても魅力ある企業であり続けられるよう、全社一丸となって邁進する所存です。

今後とも、変わらぬご愛顧、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

株式会社クスリのアオキホールディングス  
代表取締役社長

青木 宏憲

株 主 各 位

(証券コード3549)  
(発送日) 2026年 8月 3日  
(電子提供措置の開始日) 2026年7月17日  
石川県白山市松本町2512番地  
株式会社クスリのアオキホールディングス

代表取締役社長 青木 宏憲

## 第28回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第28回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置を取っており、インターネット上の以下のウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】 <https://kusuri-aoki-hd.co.jp/ir/stock/meeting/>

【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

※上記東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「クスリのアオキホールディングス」、または「コード」に当社証券コード「3549」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択し、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。

なお、当日ご出席されない場合は、書面またはインターネット等によって議決権を行使することができますので、お手数ながら、3頁の『議決権行使についてのご案内』をご確認のうえ、「株主総会参考書類」をご検討くださいまして、**2026年8月18日（火曜日）午後5時まで**に議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

|        |                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時  | 2026年8月19日（水曜日）午前10時                                                                                                                                                                                                               |
| 2 場 所  | 石川県金沢市本町2-15-1<br>ホテル日航金沢 4階 鶴の間                                                                                                                                                                                                   |
| 3 目的事項 | <p><b>報告事項</b></p> <p>1. 第28期（2025年5月21日から2026年5月20日まで）<br/>事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件</p> <p>2. 第28期（2025年5月21日から2026年5月20日まで）<br/>計算書類報告の件</p> <p><b>決議事項</b></p> <p>第1号議案 取締役11名選任の件</p> <p>第2号議案 補欠監査役1名選任の件</p> |

以 上

当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

- 議決権行使書面において、各議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示があったものとして取り扱わせていただきます。
- 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として、株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。
- 法令及び当社定款第19条第2項の規定に基づき、当社は以下の事項を「交付書面」（書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面）に記載しておりません。

「交付書面」に記載しない事項

- ・事業報告 企業集団の現況に関する事項のうち、「当事業年度の事業の状況」の「事業の経過及びその成果」、「財産及び損益の状況」、「対処すべき課題」、「主要な事業内容」、「主要な事業所」、「従業員の状況」、「主要な借入先の状況」
- ・事業報告のうち、会社の株式に関する事項、会社の新株予約権等に関する事項、会計監査人に関する事項、業務の適正を確保するための体制、業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要、会社の支配に関する基本方針、剰余金の配当等の決定に関する方針
- ・連結計算書類、計算書類、連結計算書類に係る会計監査報告、計算書類に係る会計監査報告、監査役会の監査報告

なお、監査役及び会計監査人は、上記の事項を含む監査対象書類を監査しております。

また、本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、株主の皆様には電子提供措置事項から上記を除いたものを記載した書面として、本招集ご通知を一律で送付しております。

- 電子提供措置事項に修正をすべき事情が生じた場合は、当該ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載させていただきます。
- 株主総会決議ご通知は送付せず、第28回定時株主総会終了後に、当社ウェブサイトにて議決権の行使結果を掲載させていただきます。

当社ウェブサイト (<https://www.kusuri-aoki-hd.co.jp>)



## 議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、株主の皆様の大切な権利です。  
後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。  
議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。



### 株主総会にご出席される場合

議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

日 時

2026年8月19日（水曜日）  
午前10時（受付開始：午前9時）



### 書面（郵送）で議決権を行使される場合

議決権行使書用紙に議案の賛否をご表示のうえ、ご返送ください。

行使期限

2026年8月18日（火曜日）  
午後5時到着分まで



### インターネット等で議決権を行使される場合

次頁の案内に従って、議案の賛否をご入力ください。

行使期限

2026年8月18日（火曜日）  
午後5時入力完了分まで

## 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

議決権行使書 株主番号 ○○○○○○ 議決権の数 XX 個

〇〇〇〇 御中

××××年 ×月××日

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

スマートフォン用  
議決権行使  
ウェブサイト  
ログインQRコード

見本

〇〇〇〇〇〇

こちらに議案の賛否をご記入ください。

#### 第1号議案

- 全員賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 全員反対する場合 >> 「否」の欄に○印
- 一部の候補者を反対する場合 >> 「賛」の欄に○印をし、反対する候補者の番号をご記入ください。

#### 第2号議案

- 賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 反対する場合 >> 「否」の欄に○印

※議決権行使書用紙はイメージです。

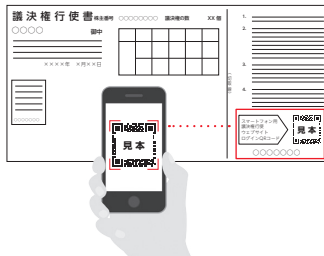
書面（郵送）及びインターネット等の両方で議決権行使をされた場合は、インターネット等による議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネット等により複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。

# インターネット等による議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法 「スマート行使」

議決権行使コード及びパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

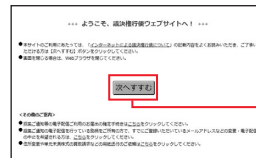
議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがPC向けサイトへアクセスし、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。

※QRコードを再度読み取っていただくと、PC向けサイトへ遷移できます。

## 議決権行使コード・パスワードを入力する方法

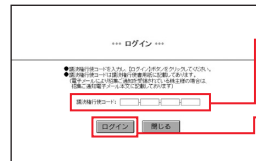
議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



「次へすすむ」をクリック

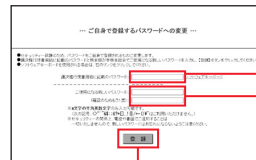
- 2 議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」をご入力ください。



「議決権行使コード」を入力

「ログイン」をクリック

- 3 議決権行使書用紙に記載された「パスワード」をご入力ください。



「パスワード」を入力

実際にご使用になる新しいパスワードを設定してください

「登録」をクリック

- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォンの操作方法などが不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル  
電話番号：0120-652-031 (フリーダイヤル)  
(受付時間 9:00~21:00)

機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。



株主総会参考書類

第1号議案 取締役11名選任の件

取締役全員（9名）は、本総会の終結の時をもって任期満了となります。  
つきましては、指名報酬委員会による答申を踏まえ、取締役11名の選任をお願いいたしたいと存じます。  
取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号

1

あ お き や す と し

青木保外志

(1949年1月2日生)

所有する当社の株式数…………… 1,982,000株

取締役会出席状況…………… 16/16回

再任

【略歴、当社における地位及び担当】

|           |                      |           |                  |
|-----------|----------------------|-----------|------------------|
| 1976年 6 月 | 有限会社青木二階堂薬局設立監査役     | 2003年 8 月 | 同社代表取締役社長        |
| 1981年 3 月 | 有限会社三和薬商代表取締役        | 2012年 5 月 | 同社代表取締役社長兼社長執行役員 |
| 1985年 1 月 | 株式会社クスリのアオギ設立代表取締役専務 | 2014年 5 月 | 同社取締役最高顧問        |
|           |                      | 2016年11月  | 当社取締役最高顧問(現任)    |
| 1999年 6 月 | 同社代表取締役副社長           |           |                  |

【重要な兼職の状況】

—

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることになります。

候補者番号

2

あ お き ひ ろ の り  
青 木 宏 憲

(1972年4月6日生)

所有する当社の株式数…………… 0株

取締役会出席状況…………… 16/16回

再任

【略歴、当社における地位及び担当】

|          |                    |          |                                 |
|----------|--------------------|----------|---------------------------------|
| 1996年4月  | 大塚製薬株式会社入社         | 2010年8月  | 株式会社クスリのアオキ代表取締役専務兼営業本部長兼営業推進室長 |
| 2003年2月  | 株式会社クスリのアオキ入社      | 2012年5月  | 同社代表取締役兼専務執行役員営業本部長             |
| 2006年4月  | 同社管理部長             | 2014年5月  | 同社代表取締役社長（現任）                   |
| 2006年7月  | 同社執行役員管理部長         | 2016年11月 | 当社代表取締役社長兼社長執行役員                |
| 2007年5月  | 同社執行役員人事教育部長       | 2018年6月  | 当社代表取締役社長（現任）                   |
| 2008年11月 | 同社執行役員調剤事業本部長      |          |                                 |
| 2010年5月  | 同社執行役員営業本部長兼営業推進室長 |          |                                 |
| 2010年6月  | 株式会社青木二階堂代表取締役社長   |          |                                 |

【重要な兼職の状況】

株式会社クスリのアオキ代表取締役社長

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることになります。

候補者番号

3

い い じ ま  
飯 嶋

ひとし  
仁

(1976年10月16日生)

所有する当社の株式数…………… 18,000株  
取締役会出席状況…………… 16/16回

再任

【略歴、当社における地位及び担当】

|           |                              |           |                                       |
|-----------|------------------------------|-----------|---------------------------------------|
| 2003年 5 月 | 株式会社クスリのアオキ入社                | 2022年 6 月 | 日本チェーンドラッグストア協会理事（現任）                 |
| 2012年 5 月 | 同社調剤運営部長                     | 2024年 5 月 | 当社常務取締役営業・経営戦略担当（現任）                  |
| 2016年 5 月 | 同社社長付大型店開発担当（部長待遇）           | 2024年 5 月 | 株式会社クスリのアオキ常務取締役店舗運営本部長兼関東・東北地区開発推進担当 |
| 2017年 5 月 | 同社店舗支援部長                     | 2025年 6 月 | 同社常務取締役店舗運営本部長（現任）                    |
| 2018年 6 月 | 同社店舗運営本部長兼調剤事業部長             |           |                                       |
| 2020年 5 月 | 同社店舗運営本部長兼ドラッグ統括             |           |                                       |
| 2020年 8 月 | 当社取締役営業部門担当                  |           |                                       |
| 2020年 8 月 | 株式会社クスリのアオキ取締役店舗運営本部長兼ドラッグ統括 |           |                                       |
| 2021年 5 月 | 当社取締役営業部門担当兼関東・東北地区本部長       |           |                                       |
| 2021年 5 月 | 株式会社クスリのアオキ取締役店舗運営本部長        |           |                                       |

【重要な兼職の状況】

株式会社クスリのアオキ常務取締役店舗運営本部長  
日本チェーンドラッグストア協会理事

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。

候補者番号

4

や は た り ょ う い ち  
八 幡 亮 一

(1966年 8月24日生)

所有する当社の株式数…………… 49,500株  
取締役会出席状況…………… 16/16回

再 任

〔略歴、当社における地位及び担当〕

|           |                                 |           |                            |
|-----------|---------------------------------|-----------|----------------------------|
| 1989年 4 月 | 株式会社ワールド入社                      | 2016年11月  | 当社取締役兼常務執行役員グループ<br>管理部門担当 |
| 2004年 7 月 | 株式会社クスリのアオキ入社                   | 2018年 6 月 | 当社取締役管理部門担当兼経営企画室長         |
| 2006年 5 月 | 同社執行役員経営企画室長                    | 2018年 6 月 | 株式会社クスリのアオキ取締役             |
| 2010年 5 月 | 同社執行役員管理本部長                     | 2020年 5 月 | 当社取締役管理部門担当                |
| 2012年 5 月 | 同社常務執行役員管理本部長                   | 2021年 5 月 | 当社取締役管理部門担当兼経理室長           |
| 2012年 5 月 | 株式会社A 2 ロジ取締役                   | 2021年 5 月 | 株式会社クスリのアオキ取締役経理<br>部長     |
| 2013年 5 月 | 株式会社クスリのアオキ常務執行役<br>員財務企画・I R室長 | 2023年 5 月 | 当社取締役管理部門担当（現任）            |
| 2014年 5 月 | 同社常務執行役員管理本部長                   | 2023年 5 月 | 株式会社クスリのアオキ取締役（現<br>任）     |
| 2014年 8 月 | 同社取締役兼常務執行役員管理本部長               | 2026年 4 月 | 株式会社A 2 ロジ取締役（現任）          |
| 2016年 8 月 | 当社取締役                           |           |                            |

〔重要な兼職の状況〕

株式会社クスリのアオキ取締役  
株式会社A 2 ロジ取締役

〔役員等賠償責任保険契約の状況〕

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。

候補者番号

5

えのき      ど      よう      すけ  
榎 戸 要 介

(1981年11月13日生)

所有する当社の株式数……………

0株

新任

【略歴、当社における地位及び担当】

2004年4月 株式会社フスリのアオキ入社  
2017年5月 当社内部統制推進室長  
2020年5月 当社経営戦略室長  
2025年6月 当社経営企画本部長（現任）

【重要な兼職の状況】

—

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役を選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。

候補者番号

6

いのうえ よしこ  
井上佳子

(1974年7月26日生)

所有する当社の株式数…………… 0株  
取締役会出席状況…………… 15/16回

再任

社外

独立役員

【略歴、当社における地位及び担当】

|           |                       |           |                                 |
|-----------|-----------------------|-----------|---------------------------------|
| 1997年 4 月 | 花王株式会社入社              | 2019年 5 月 | 同社代表取締役社長                       |
| 2000年 2 月 | ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社入社 | 2019年 6 月 | 一般社団法人日本コンタクトレンズ協会理事            |
| 2005年 7 月 | ゴールドマン・サックス証券株式会社入社   | 2021年 8 月 | 当社社外取締役（現任）                     |
| 2008年 1 月 | 日本メドトロニック株式会社入社       | 2023年 6 月 | ノボノルディスクファーマ株式会社取締役副社長          |
| 2014年10月  | クーパービジョン・ジャパン株式会社入社   | 2025年 1 月 | テレフレックスメディカルジャパン株式会社代表取締役社長（現任） |
| 2015年10月  | 同社執行役員                |           |                                 |
| 2018年10月  | 同社取締役                 |           |                                 |

【重要な兼職の状況】

テレフレックスメディカルジャパン株式会社代表取締役社長

【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割】

井上佳子氏は、テレフレックスメディカルジャパン株式会社代表取締役社長を務めており、経営者としての豊富な経験や見識に加え、女性として当社の企業価値向上のための有用な視点を有しております。その経験や知識を活かして独立した立場から経営の監督を行うことにより、取締役会の機能強化が期待されると判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、同氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏が社外取締役に選任された場合には、当社は引き続き同氏を独立役員とする予定であります。

【当社との利害関係】

候補者と当社との間には、特別の利害関係はございません。

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることになります。

候補者番号

7

ふ じ い ひ ろ み つ  
藤 井 大 温

(1977年4月13日生)

所有する当社の株式数…………… 0株

取締役会出席状況…………… 16/16回

再 任

社 外

独 立 役 員

**【略歴、当社における地位及び担当】**

|          |                             |          |                           |
|----------|-----------------------------|----------|---------------------------|
| 2002年7月  | ドラッグストアモリ（現ナチュラルホールディングス）入社 | 2015年6月  | 株式会社タイオン365 代表取締役（現任）     |
| 2007年10月 | 株式会社クスリのアオキ入社               | 2017年8月  | タイオンホールディングス株式会社代表取締役（現任） |
| 2008年4月  | 株式会社クスリのアオキ退社               | 2017年10月 | 一般財団法人タイオン奨学基金代表理事（現任）    |
| 2008年5月  | 株式会社ザグザグ入社 同 取締役            | 2023年8月  | 当社社外取締役（現任）               |

**【重要な兼職の状況】**

タイオンホールディングス株式会社代表取締役

**【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割】**

藤井大温氏は、タイオンホールディングス株式会社の代表取締役社長を務めており、介護分野や在宅特化型調剤薬局における経営者としての豊富な経験や見識を有していることに加え、ドラッグストア業界にも長年に亘り従事しております。ドラッグストア業界に関する知見を有する同氏が、独立した立場から当社の経営の監督し、さらには調剤薬局・介護分野等の事業を立ち上げた経験を活かし、変化する顧客のニーズに関して取締役会に助言することは、当社取締役会の機能強化となることはもちろん、地域の顧客から信頼されるドラッグストアや調剤薬局を運営し、顧客の満足度を高めながら企業価値を継続して高めることにもつながると判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、同氏は、2007年に株式会社クスリのアオキに入社し、当社社員として約6ヵ月間、店舗に勤務していた期間がありますが、退職してから既に15年以上が経過している上、当該期間を除き、過去及び現在において当社への関与は一切ありません。そのため、同氏が当社社外取締役として職務を遂行することについて、独立性の観点から問題はなく、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏が社外取締役に選任された場合には、当社は引き続き同氏を独立役員とする予定であります。

**【当社との利害関係】**

候補者と当社との間には、特別の利害関係はございません。

**【役員等賠償責任保険契約の状況】**

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。

候補者番号

8

たけうちとしあき

竹内俊昭

(1959年3月22日生)

所有する当社の株式数……………0株

取締役会出席状況……………16/16回

再任

社外

独立役員

【略歴、当社における地位及び担当】

|         |                                   |         |                                     |
|---------|-----------------------------------|---------|-------------------------------------|
| 1981年4月 | 花王株式会社入社                          | 2023年3月 | 花王株式会社代表取締役専務執行役員退任                 |
| 2012年6月 | 同社執行役員                            | 2023年3月 | 花王グループカスタマーマーケティング株式会社代表取締役社長執行役員退任 |
| 2014年3月 | 同社代表取締役常務執行役員                     |         |                                     |
| 2014年3月 | 花王カスタマーマーケティング株式会社代表取締役社長執行役員     | 2024年4月 | クロスプラス株式会社社外取締役（現任）                 |
| 2016年1月 | 花王株式会社代表取締役専務執行役員                 | 2024年8月 | 当社社外取締役（現任）                         |
| 2016年1月 | 花王グループカスタマーマーケティング株式会社代表取締役社長執行役員 |         |                                     |

【重要な兼職の状況】

クロスプラス株式会社社外取締役

【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割】

竹内俊昭氏は、花王株式会社の代表取締役専務執行役員や花王カスタマーマーケティング株式会社の代表取締役社長執行役員を務めた経験があり、経営者としての豊富な経験や実績を有していることに加え、小売業に対して十分な知見を有しております。同氏が大手消費財メーカーの代表取締役を務めたその経験や知見、実績を活かして、当社の取締役会に助言することは、変化する顧客のニーズへの適切な対応及び当社のガバナンスの強化に寄与するものであり、当社の継続的な企業価値の向上につながると判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、同氏は、花王株式会社及び花王カスタマーマーケティング株式会社を退任してから1年以上経過しております。そのため、同氏が当社社外取締役として職務を遂行することについて、独立性の観点から問題はなく、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏が社外取締役に選任された場合には、当社は引き続き同氏を独立役員とする予定であります。

【当社との利害関係】

候補者と当社との間には、特別の利害関係はございません。

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることになります。



候補者番号

9

よし だ  
吉 田

たけし  
剛

(1957年2月25日生)

所有する当社の株式数……………

0株

新任

【略歴、当社における地位及び担当】

|         |                                                            |         |                            |
|---------|------------------------------------------------------------|---------|----------------------------|
| 1980年4月 | 株式会社北陸銀行入行                                                 | 2019年6月 | 同社取締役退任                    |
| 2016年6月 | 同社取締役常務執行役員石川地区事業部本部長                                      | 2022年6月 | 株式会社北陸カード代表取締役会長<br>同社顧問   |
| 2017年6月 | 同社取締役専務執行役員営業推進本部副本部長兼東京地区事業部本部長<br>株式会社ほくほくフィナンシャルグループ取締役 | 2023年1月 | ウィズコンサルティング株式会社代表取締役社長（現任） |

社外

独立役員

【重要な兼職の状況】

ウィズコンサルティング株式会社代表取締役社長

【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割】

吉田剛氏は、長年にわたり金融機関の要職を歴任され、企業経営及び営業推進における豊富な経験と高い見識を有しております。第4次中期経営計画における総額2,000億円の成長投資に係る適正な執行の監督及び適切なキャッシュアロケーションに基づく財務健全性の維持において、同氏の財務・組織統治に関する深い知見は極めて有益であります。同氏が独立した客観的な視点から当社の取締役会に助言し、取締役会を監督することは、ガバナンス体制のさらなる透明性向上と中長期的な企業価値向上に資するものと判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、同氏は、選任時点で当社グループの主要行である株式会社北陸銀行の取締役を退任してから3年以上経過しており、独立性の観点から問題はなく、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしております。同氏が社外取締役に選任された場合には、当社は同氏を独立役員とする予定であります。

【当社との利害関係】

候補者と当社との間には、特別の利害関係はございません。

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることになります。

候補者番号

10

お ざ わ  
小 澤

みのる  
実 (1962年1月23日生)

所有する当社の株式数……………

0株

新任

社外

独立役員

【略歴、当社における地位及び担当】

|         |                                            |          |                                           |
|---------|--------------------------------------------|----------|-------------------------------------------|
| 1984年4月 | 株式会社太陽神戸銀行（現株式会社三井住友銀行）入行                  | 2007年11月 | UBSウェルス・マネジメント（UBS銀行東京支店）ディレクター Desk Head |
| 2001年4月 | 株式会社三井住友銀行市場営業部（ロンドン）Head of Trading Group | 2011年1月  | バリュークリエイトパートナーズ株式会社代表取締役社長（現任）            |
| 2003年7月 | 同社コンサルティング事業部上席部長代理                        | 2024年12月 | 富士製菓工業株式会社社外取締役（現任）                       |
| 2004年1月 | 同社プライベートバンキング営業部<br>プライベートバンカー上席推進役        |          |                                           |

【重要な兼職の状況】

バリュークリエイトパートナーズ株式会社代表取締役社長  
富士製菓工業株式会社社外取締役

【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割】

小澤実氏は、多角的な金融市場でのキャリア、代表取締役社長としての経営経験、他社での社外取締役としての実績を有し、資本市場への深い理解と高度な財務戦略の専門知識を有しております。株主還元施策を含む資本効率の最適化を推進していく上で、一般株主の利益に配慮した同氏の客観的かつ専門的な知見に基づく適切な助言及び監督は、当社取締役会の監督機能を強化するものと判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、同氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏が社外取締役に選任された場合には、当社は同氏を独立役員とする予定であります。

【当社との利害関係】

候補者と当社との間には、特別の利害関係はございません。

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることになります。

候補者番号

11

もり おか しん いち  
森 岡 真 一

(1977年3月18日生)

所有する当社の株式数……………

0株

新任

【略歴、当社における地位及び担当】

2003年11月 弁護士登録

2005年8月 兼六法律事務所（現弁護士法人兼六法律事務所）入所（現在に至る）

社外

独立役員

【重要な兼職の状況】

弁護士

【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割】

森岡真一氏は、現在、当社の補欠監査役であり、当社のガバナンス体制及び経営環境への深い理解を有していることに加え、弁護士として長年にわたり企業法務を中心とする様々な法的課題、コンプライアンス体制の構築に携わっており、法務及びリスクマネジメントの専門家として高い見識と豊富な経験を有しております。同氏がその高い専門的見地及び当社への深い知見をもとに、独立した立場で経営を監督することは、当社の透明性担保と少数株主の利益保護に最適であると判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、同氏は、会社経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。

また、同氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏が社外取締役に選任された場合には、当社は同氏を独立役員とする予定であります。

【当社との利害関係】

候補者と当社との間には、特別の利害関係はございません。

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が取締役に応任された場合には、当該保険契約の被保険者に含まれることになります。

- (注) 1. 井上佳子氏、藤井大温氏、竹内俊昭氏、吉田剛氏、小澤実氏及び森岡真一氏は、社外取締役候補者であります。
2. 社外取締役候補者に関する特記事項は以下のとおりであります。
- (1) 社外取締役候補者が社外取締役に就任してからの年数について  
当社社外取締役としての在任期間は、本総会の終結の時をもって井上佳子氏は5年、藤井大温氏は3年、竹内俊昭氏は2年であります。
- (2) 社外取締役との責任限定契約について  
当社は、社外取締役がその能力を十分発揮し、期待される役割を果たし得るようにするため、現行定款において、社外取締役との間で、責任限定契約を締結できる旨を定めております。これにより当社は、井上佳子氏、藤井大温氏及び竹内俊昭氏との間で責任限定契約を締結しており、取締役に選任された場合には、社外取締役として当社との間で当該責任限定契約を継続する予定であります。また、吉田剛氏、小澤実氏及び森岡真一氏が取締役に選任された場合は、社外取締役として当社との間で当該責任限定契約を締結する予定です。その契約内容の概要は、次のとおりであります。
- ・社外取締役が任務を怠ったことによって当社に損害賠償責任を負う場合は、法令が定める額を限度として、その責任を負う。
  - ・上記の責任限定が認められるのは、当該社外取締役が責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がない時に限るものとする。
3. 当社は、役員等賠償責任保険契約を保険会社と締結しており、各候補者が取締役に選任された場合には、当該保険契約の被保険者となります。
- なお、当該保険契約の内容の概要等は「事業報告 3. 会社役員に関する事項(4)」をご参照ください。
4. 井上佳子氏の戸籍上の氏名は、今井佳子であります。

【ご参考】選任後の取締役の構成及びスキルマトリックス

第1号議案を原案どおりに承認可決いただいた場合、取締役の構成は以下のとおりです。

| 区分  | 氏名    | 地位      | 専門性           |             |               |           |                  |
|-----|-------|---------|---------------|-------------|---------------|-----------|------------------|
|     |       |         | 企業経営・<br>事業戦略 | 事業知見・<br>商品 | 人材資本・<br>人材開発 | 財務・<br>会計 | 法務・<br>リスクマネジメント |
| 取締役 | 青木保外志 | 取締役最高顧問 | ●             | ●           | ●             |           |                  |
|     | 青木宏憲  | 代表取締役社長 | ●             | ●           | ●             |           |                  |
|     | 飯嶋仁   | 常務取締役   |               | ●           | ●             |           |                  |
|     | 八幡亮一  | 取締役     |               | ●           |               | ●         | ●                |
|     | 榎戸要介  | 取締役     |               | ●           | ●             |           | ●                |
|     | 井上佳子  | 社外取締役   | ●             |             | ●             |           |                  |
|     | 藤井大温  | 社外取締役   | ●             | ●           |               |           |                  |
|     | 竹内俊昭  | 社外取締役   | ●             | ●           |               |           | ●                |
|     | 吉田剛   | 社外取締役   | ●             |             | ●             | ●         |                  |
|     | 小澤実   | 社外取締役   | ●             |             |               | ●         |                  |
|     | 森岡真一  | 社外取締役   |               |             | ●             |           | ●                |

(注) 上記のスキルマトリックスは、各人の有する全ての知見や経験を表すものではありません。

第2号議案 補欠監査役1名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、補欠監査役1名の選任をお願いしたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

補欠監査役候補者は、次のとおりであります。

|     |                                                     |                 |    |
|-----|-----------------------------------------------------|-----------------|----|
| 候補者 | <div>すやしょうじ<br/>酢谷昌司</div> <div>(1976年5月13日生)</div> | 所有する当社の株式数…………… | 0株 |
|-----|-----------------------------------------------------|-----------------|----|

【略歴】

2006年10月 弁護士登録  
2006年10月 金沢みらい法律事務所 入所  
2016年11月 泉が丘法律事務所開設、同所長就任（現任）  
2022年6月 北國債権回収株式会社 社外取締役 就任  
2026年6月 北國債権回収株式会社 社外取締役 退任

【重要な兼職の状況】

弁護士

【補欠の社外監査役候補者とした理由】

酢谷昌司氏は、弁護士としての高い専門性と商事問題における豊富な経験を有しているだけでなく、他社における社外取締役を歴任されるなど、企業統治に関する深い識見と実務経験を備えております。その専門的知見と客観的な視点から、当社の監査体制を適切に強化していただけるものと判断し、補欠監査役として選任をお願いするものであります。

なお、現在、当社の補欠監査役である森岡真一氏が、本定時株主総会において社外取締役候補者として上程されることに伴い、万一、監査役が欠員となった場合における監査体制の継続性とガバナンスの維持に万全を期すため、森岡氏の後任として、あらかじめ補欠監査役1名の選任をお願いするものであります。

【役員等賠償責任保険契約の状況】

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者が負担することになる損害賠償請求訴訟における損害及び訴訟費用を当該保険契約より填補することとしております。候補者が監査役に就任した場合、当該保険契約の被保険者に含まれることになります。

- (注) 1. 候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 酢谷昌司氏は、補欠の社外監査役候補者であります。
3. 補欠の社外監査役候補者に関する特記事項は以下のとおりであります。

補欠の社外監査役との責任限定契約について

当社は、社外監査役がその能力を十分発揮し、期待される役割を果たし得るようにするため、現行定款において、社外監査役との間で、責任限定契約を締結できる旨を定めております。これにより酢谷昌司氏が監査役に就任した場合には、社外監査役として当社との間で当該責任限定契約を締結する予定であります。その契約内容の概要は、次のとおりであります。

- ・ 社外監査役が任務を怠ったことによって当社に損害賠償責任を負う場合は、法令が定める額を限度として、その

責任を負う。

・上記の責任限定が認められるのは、当該社外監査役が責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がない時に限るものとする。

4. 当社は、役員等賠償責任保険契約を保険会社と締結しており、候補者が監査役に就任した場合には、当該保険契約の被保険者となります。なお、当該保険契約の内容の概要等は、「事業報告 3. 会社役員に関する事項(4)」をご参照ください。
5. 酢谷昌司氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏が社外監査役に就任した場合には、当社は同氏を独立役員として同取引所に届け出る予定であります。

以上

# 事業報告

(2025年5月21日から2026年5月20日まで)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 資金調達の状況

当社の子会社である株式会社クスリのアオキは、資金調達の機動性及び安定性の確保を目的として、取引金融機関1行とコミットメントライン契約を締結しております。当該契約に基づくコミットメントラインの総額は20億円であり、当連結会計年度末における借入実行残高はありません。

### (2) 設備投資の状況

当連結会計年度の新規出店を含めた設備投資は、合計421億93百万円でした。これらに要した資金は長期借入金及び自己資金等で賄っております。



## 2. 重要な親会社及び子会社の状況

(1) 親会社の状況

該当事項はありません。

(2) 重要な子会社の状況

| 会 社 名       | 資本金    | 当社の出資比率            | 主な事業内容                                         |
|-------------|--------|--------------------|------------------------------------------------|
| 株式会社クスリのアオキ | 300百万円 | 100.0%             | 医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売業                   |
| 株式会社ナルックス   | 50百万円  | 100.0%             | 食品スーパーマーケット、医薬品・化粧品・日用雑貨、調剤薬局等の近隣型小売業          |
| 株式会社フクヤ     | 12百万円  | 100.0%             | 医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売業                   |
| 株式会社ミワ商店    | 10百万円  | 100.0%             | 生鮮品・惣菜・ドライ食品・日配食品・ベーカリー・リカー・日用雑貨・衣料・一般用医薬品の小売業 |
| 株式会社スポット    | 30百万円  | 100.0%             | 生鮮品・惣菜・ドライ食品・日配食品・酒類・日用雑貨・衣料                   |
| 株式会社魚栄商店    | 10百万円  | 100.0%<br>(100.0%) | 生鮮品・惣菜・ドライ食品・日配食品・酒類・日用雑貨                      |
| 株式会社魚齋藤     | 23百万円  | 100.0%<br>(100.0%) | 生鮮品・惣菜・ドライ食品・日配食品・酒類・日用雑貨                      |

(注) 1. 株式会社ミワ商店は2025年6月2日付の株式取得により、株式会社スポット、株式会社魚栄商店及び株式会社魚齋藤は2026年2月24日付の株式取得により当社の子会社としております。

2. 当社の出資比率欄の（ ）内は、間接所有割合を示しております。

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の状況（2026年5月20日現在）

| 会社における地位 | 氏 名       | 担当及び重要な兼職の状況                                              |
|----------|-----------|-----------------------------------------------------------|
| 取締役最高顧問  | 青 木 保 外 志 | －                                                         |
| 代表取締役社長  | 青 木 宏 憲   | 株式会社クスリのアオキ代表取締役社長                                        |
| 常務取締役    | 飯 嶋 仁     | 営業・経営戦略担当<br>株式会社クスリのアオキ常務取締役店舗運営本部長<br>日本チェーンドラッグストア協会理事 |
| 取締役      | 八 幡 亮 一   | 管理部門担当<br>株式会社クスリのアオキ取締役<br>株式会社A2ロジ取締役                   |
| 取締役      | 柳 田 直 樹   | 柳田国際法律事務所パートナー弁護士                                         |
| 取締役      | 井 上 佳 子   | テレフレックスメディカルジャパン株式会社代表取締役社長                               |
| 取締役      | 藤 井 大 温   | タイオンホールディングス株式会社代表取締役                                     |
| 取締役      | 竹 内 俊 昭   | クロスプラス株式会社社外取締役                                           |
| 取締役      | 木 下 玲 子   | アドミラルキャピタル株式会社代表取締役<br>第一三共株式会社社外取締役                      |
| 常勤監査役    | 三 賀 森 正 裕 | 株式会社クスリのアオキ監査役                                            |
| 監査役      | 桑 島 敏 彰   | 株式会社K&アソシエイツ取締役CEO<br>G R N株式会社社外取締役                      |
| 監査役      | 中 村 明 子   | 中村明子法律事務所 弁護士<br>株式会社北國新聞社社外監査役<br>北陸電力株式会社社外監査役          |

- (注) 1. 取締役柳田直樹氏、井上佳子氏、藤井大温氏、竹内俊昭氏及び木下玲子氏は、社外取締役であります。
2. 監査役桑島敏彰氏及び中村明子氏は、社外監査役であります。
3. 当社は、取締役柳田直樹氏、井上佳子氏、藤井大温氏、竹内俊昭氏、木下玲子氏、監査役桑島敏彰氏及び中村明子氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
4. 常勤監査役三賀森正裕氏は、当社での社歴や店舗運営部の責任者としての現場経験も長く、ドラッグストア業界に関する相当程度の知見を有しております。
- 監査役桑島敏彰氏は、企業経営経験者として幅広く高度な見識と豊富な経験を有しております。
- 監査役中村明子氏は、弁護士としての専門の見識と経験を持つとともに、商事問題に関する相当程度の知見を有しております。
5. 2026年1月15日をもって、岡田元也氏は社外取締役を辞任いたしました。なお、退任時における重要な兼職は、イオン株式会社取締役兼代表執行役会長、ウエルシアホールディングス株式会社取締役でありました。
6. 2026年3月31日をもって、青木孝憲氏は取締役を辞任いたしました。なお、退任時における重要な兼職は、株式会社クスリのアオキ取締役副社長、株式会社A2ロジ取締役でありました。

## (2) 責任限定契約の内容の概要

| 氏 名             | 責 任 限 定 契 約 の 内 容 の 概 要                                                                                                                                                                         |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岡 田 元 也 (社外取締役) | 左記社外取締役及び社外監査役は、当社との間で以下の内容にて責任限定契約を締結しております。<br>・社外取締役及び社外監査役が任務を怠ったことによって当社に損害賠償責任を負う場合は、法令が定める額を限度として、その責任を負う。<br>・上記の責任限定が認められるのは、当該社外取締役及び社外監査役が責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限るものとする。 |
| 柳 田 直 樹 (社外取締役) |                                                                                                                                                                                                 |
| 井 上 佳 子 (社外取締役) |                                                                                                                                                                                                 |
| 藤 井 大 温 (社外取締役) |                                                                                                                                                                                                 |
| 竹 内 俊 昭 (社外取締役) |                                                                                                                                                                                                 |
| 木 下 玲 子 (社外取締役) |                                                                                                                                                                                                 |
| 桑 島 敏 彰 (社外監査役) |                                                                                                                                                                                                 |
| 中 村 明 子 (社外監査役) |                                                                                                                                                                                                 |

## (3) 補償契約の内容の概要等

当社は、当社のすべての取締役、監査役との間で、会社法第430条の2第1項に規定する補償契約を締結しており、同項第1号の費用及び同項第2号の損失を法令の定める範囲内において当社が補償することとしています。ただし、当該補償契約によって会社役員の職務の執行の適正性が損なわれないようにするため、次に掲げる事項に該当する場合には補償の対象としないこととしています。

- ・本職務の執行に関連しない費用等
- ・通常要する費用の額を超える防御費用
- ・当社からの責任追及に係る防御費用
- ・当社に生じた損害に係る賠償金等
- ・補償対象者がその職務を行うにつき悪意又は重大な過失があったことにより損害を賠償する責任を負う場合における当該損害に係る賠償金等
- ・第三者に生じた損害に係る賠償金等のうち、当社が当該第三者に対して損害を賠償するとすれば補償対象者が当社に対して会社法第423条第1項の責任を負う場合における当該責任に係る部分
- ・補償対象者が、当社の事前の承諾なく、本職務の執行に関連して第三者に生じた損害に関して、和解をした場合の和解金
- ・保釈保証金、過料、課徴金又は罰金
- ・会社法第430条の3第1項に定義される役員等賠償責任保険契約に基づく保険金の支払いその他の理由により別途補填を受けた費用等
- ・補償することで当社が法令に違反し、又は当社の取締役が善管注意義務に違反することとなる費用等

#### (4) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、当社及び当社子会社のすべての取締役、監査役を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約は、被保険者がその業務遂行のために行った行為に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や訴訟費用等が填補されるものとなります。

ただし犯罪行為や被保険者が法令に違反することを認識しながら行った行為に起因して生じた損害等は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないように措置を講じております。なお、保険料は全額当社が負担しております。

#### (5) 取締役及び監査役の報酬等

##### ①報酬等の決定に関する方針

取締役及び監査役の報酬等について、取締役及び監査役の報酬等の決定に関する方針は、有価証券報告書等に記載しておりますとおり、株主総会において決議いただいております。取締役及び監査役それぞれの報酬総額の範囲内において、役位ごとの役割や責任範囲、企業価値増大への貢献、業績指標の達成度合い等を総合的に勘案して決定しております。

当社の取締役（社外取締役を除く）の報酬体系は、基本報酬とストック・オプションで構成されており、基本報酬の金額については、外部専門機関等の公表資料データ及び同業他社、異業種の報酬水準を踏まえ、取締役ごとの職務・職責等に基づいた金額（固定報酬）に加え、前連結会計年度の業績に基づいて算出した金額（業績連動報酬）を合わせた金額を当連結会計年度の報酬として確定させ、これを基本報酬としております。

個人別の報酬額については、取締役会決議に基づき代表取締役社長がその具体的内容について委任を受けるものとし、管理部門担当役員とも協議しながら、以下の基準に則り、各取締役の基本報酬の額を決定しております。なお、非金銭報酬としてはストック・オプションがありますが、その付与は不定期であり、必要と判断した時期に付与しております。

(1) 取締役の固定報酬は、年間報酬額を12で除した月額固定の報酬としております。

(2) 業績連動報酬は、各事業年度の連結営業利益の予算達成率に基づき、各取締役の職務・職責・成果貢献度を加味して、毎年決定しております。

(3) 業績連動報酬の基本報酬に対する支給割合については、指名報酬委員会の協議及び意見を踏まえて、決定しております。

取締役の個人別の報酬等の額に対する割合については、基本報酬を100%として、うち業績連動報酬部分が代表取締役や役付取締役で41～42%、取締役で19～26%となっております。社外取締役の報酬は、業務執行から離れた立場で業務執行を監督するという観点から、基本報酬のみで構成しており、期待される役割を適切に遂行できるよう、職務価値に見合った報酬水準としております。

当社の監査役の報酬は基本報酬のみで構成されており、その役割を鑑みて、業績に基づいて算出した金額は含まれておりません。

## ②当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分              | 支給人員         | 報酬等の総額            | 報 酬 等 の 種 類 別 の 総 額 |            |              |
|------------------|--------------|-------------------|---------------------|------------|--------------|
|                  |              |                   | 基本報酬                | ストック・オプション | 退職慰労金        |
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 11名<br>( 6名) | 196百万円<br>(38百万円) | 180百万円<br>(38百万円)   | —          | 16百万円<br>(—) |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 3名<br>(2名)   | 12百万円<br>(7百万円)   | 12百万円<br>(7百万円)     | —          | 0百万円<br>(—)  |
| 合 計<br>(うち社外役員)  | 14名<br>(8名)  | 208百万円<br>(45百万円) | 192百万円<br>(45百万円)   | —          | 16百万円<br>(—) |

(注) 1. 取締役の報酬限度額は、2016年6月28日開催の臨時株主総会において年額300百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない）と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は、4名（うち、社外取締役は0名）です。

2. 監査役の報酬限度額は、2016年6月28日開催の臨時株主総会において年額20百万円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は、1名（うち、社外監査役は0名）です。

3. スtock・オプションの付与は不定期であり、必要と判断した時期に付与しております。

会社役員が有する新株予約権等のうち、当事業年度における保有状況は、電子提供措置事項のうち法令及び定款に基づく書面交付請求による交付書面に記載しない事項の、「会社役員が有する新株予約権等のうち、職務執行の対価として交付されたものに関する事項」に記載しております。

4. 取締役会は各取締役の個人別の基本報酬の額について、代表取締役社長青木宏憲に対し、各取締役の職務・職責・成果貢献度に応じて、管理部門担当役員と協議のうえ決定することを委任しております。委任した理由は、当社全体の業績等勘案しつつ各取締役の担当部門について評価を行うには代表取締役社長が適していると判断したためであります。

また、当社子会社株式会社クスリのアオキ兼務役員については、両社を合わせた役割や責任範囲等を鑑みて報酬を決定した後に、両社での配分決定のうえ、各法人から報酬を支払うものとしております。

(6) 社外役員に関する事項

① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

| 氏 名             | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------|
| 岡 田 元 也 (社外取締役) | イオン株式会社取締役兼代表執行役会長<br>ウエルシアホールディングス株式会社取締役       |
| 柳 田 直 樹 (社外取締役) | 柳田国際法律事務所パートナー弁護士                                |
| 井 上 佳 子 (社外取締役) | テレフレックスメディカルジャパン株式会社代表取締役社長                      |
| 藤 井 大 温 (社外取締役) | タイオンホールディングス株式会社代表取締役                            |
| 竹 内 俊 昭 (社外取締役) | クロスプラス株式会社社外取締役                                  |
| 木 下 玲 子 (社外取締役) | アドミラルキャピタル株式会社代表取締役<br>第一三共株式会社社外取締役             |
| 桑 島 敏 彰 (社外監査役) | 株式会社K&アソシエイツ取締役CEO<br>G R N株式会社社外取締役             |
| 中 村 明 子 (社外監査役) | 中村明子法律事務所 弁護士<br>株式会社北國新聞社社外監査役<br>北陸電力株式会社社外監査役 |

- (注) 1. 取締役岡田元也氏は、イオン株式会社の取締役代表執行役会長を兼任しており、当社子会社株式会社クスリのアオキは同社との間で業務・資本提携を行っていましたが、同氏は2026年1月15日をもって当社取締役を退任しており、また上記の業務・資本提携は2026年1月16日をもって終了しました。
2. 上記1以外の各社外役員の各兼職先と当社との間には、記載すべき関係はありません。

② 当事業年度における主な活動状況

| 氏 名             | 主な活動状況及び社外取締役に関して行った職務の概要                                                                                                                                        |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岡 田 元 也 (社外取締役) | 取締役会における審議、報告に際して、業務執行を行う経営陣から独立した客観的視点と経験豊富な経営者の観点から発言を行っております。2026年1月15日辞任までの当事業年度に開催された取締役会10回のうち10回に出席し、取締役会の席上以外でも、適時、代表取締役等に有益な意見具申を行っております。               |
| 柳 田 直 樹 (社外取締役) | 取締役会における審議、報告に際して、業務執行を行う経営陣から独立した客観的視点と豊富な他社の役員経験に基づく観点から発言を行っております。当事業年度に開催された取締役会16回のうち15回に出席し、取締役会の席上以外でも、適時、代表取締役等に有益な意見具申を行っております。                         |
| 井 上 佳 子 (社外取締役) | 取締役会における審議、報告に際して、業務執行を行う経営陣から独立した客観的視点と経営者の観点から発言を行っております。当事業年度に開催された取締役会16回のうち15回に出席し、取締役会の席上以外でも、適時、代表取締役等に有益な意見具申を行っております。                                   |
| 藤 井 大 温 (社外取締役) | 取締役会における審議、報告に際して、業務執行を行う経営陣から独立した客観的視点と経営者の観点から発言を行っております。当事業年度に開催された取締役会16回のうち16回に出席し、取締役会の席上以外でも、適時、代表取締役等に有益な意見具申を行っております。                                   |
| 竹 内 俊 昭 (社外取締役) | 取締役会における審議、報告に際して、業務執行を行う経営陣から独立した客観的視点と経営者の観点から発言を行っております。当事業年度に開催された取締役会16回のうち16回に出席し、取締役会の席上以外でも、適時、代表取締役等に有益な意見具申を行っております。                                   |
| 木 下 玲 子 (社外取締役) | 取締役会における審議、報告に際して、業務執行を行う経営陣から独立した客観的視点と経営者の観点から発言を行っております。当事業年度に開催された取締役会16回のうち16回に出席し、取締役会の席上以外でも、適時、代表取締役等に有益な意見具申を行っております。                                   |
| 桑 島 敏 彰 (社外監査役) | 取締役会及び監査役会における審議、報告に際して、経営等に係る豊富な経験や幅広い見地から発言を行っております。当事業年度に開催された取締役会16回のうち14回、監査役会15回のうち14回に出席し、取締役会・監査役会の席上以外でも、適時、代表取締役・業務執行役員との意見交換の場において有益な意見具申を行っております。    |
| 中 村 明 子 (社外監査役) | 取締役会及び監査役会における審議、報告に際して、高度な専門知識及び高い独立性に基づく視点から発言を行っております。当事業年度に開催された取締役会16回のうち16回、監査役会15回のうち15回に出席し、取締役会・監査役会の席上以外でも、適時、代表取締役・業務執行役員との意見交換の場において有益な意見具申を行っております。 |

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 15 sets of three horizontal dashed lines.



メ モ

Handwriting practice lines consisting of 15 sets of three horizontal dashed lines.

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 15 sets of three horizontal dashed lines.

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 15 sets of three horizontal dashed lines.

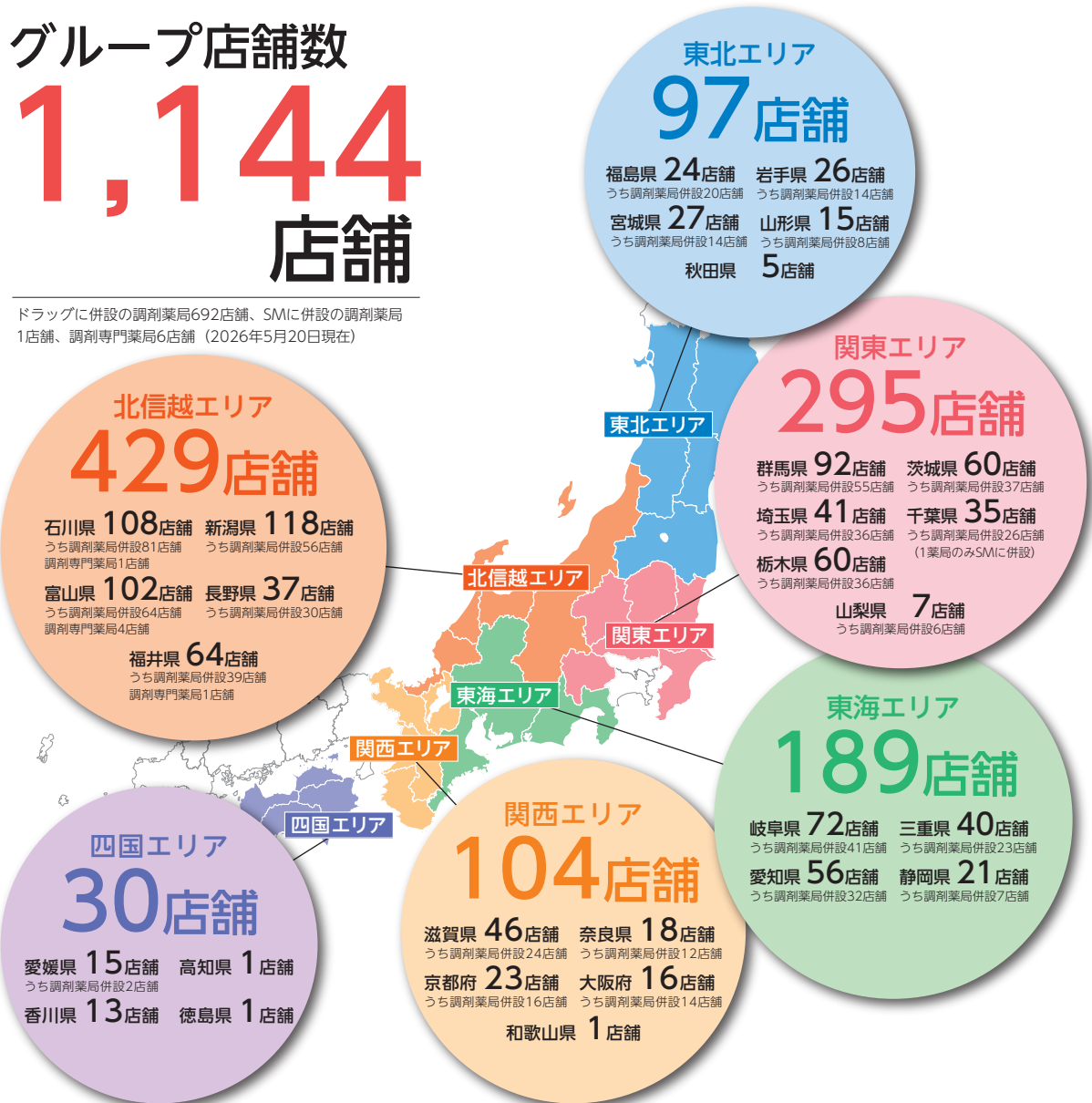
メ モ

Handwriting practice lines consisting of 15 sets of three horizontal dashed lines.

当社グループ店舗数の状況 (2026年5月20日現在)

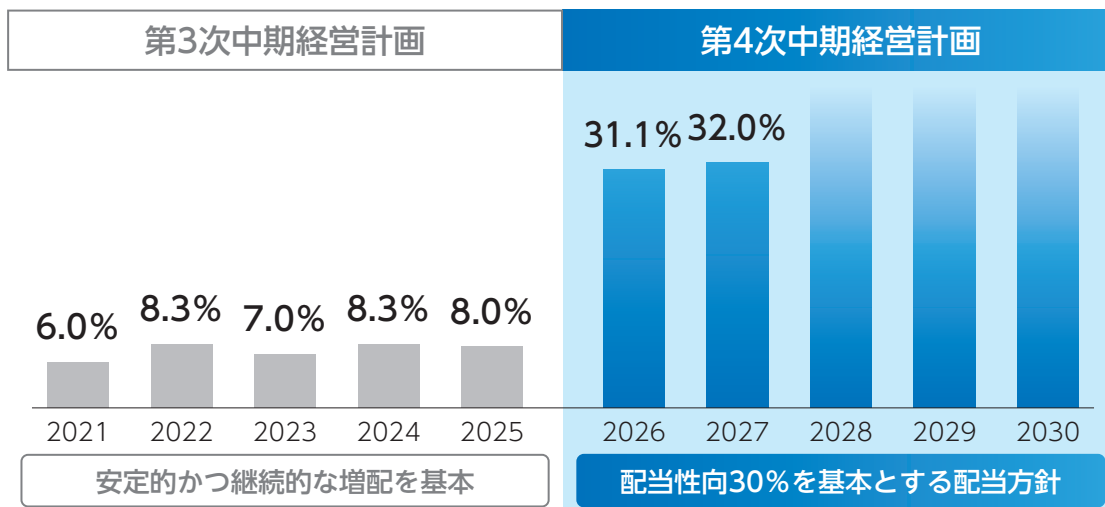
グループ店舗数  
**1,144**  
店舗

ドラッグに併設の調剤薬局692店舗、SMに併設の調剤薬局1店舗、調剤専門薬局6店舗 (2026年5月20日現在)



## 株主還元強化

### 配当性向の向上



当社のこれまでの株主還元方針は、安定的かつ継続的な増配を基本方針としておりました。2026年5月期より新たに始動した「第4次中期経営計画」において、積極的な店舗開発を中心とした成長投資の枠組み（5年間で2,000億円）を維持する一方、株主の皆様への還元をより一層強化するため、株主還元方針の抜本的見直しを行い、配当性向を30%へと引き上げることといたしました。今年度は40周年の記念配当（40円）を含め、1株当たり年間48円の配当を実施いたします。

また、変化する経営環境に応じて自社株買いを機動的に実施していくことで、さらなる株主還元の充実を図ってまいります。

今後とも、第4次中期経営計画の着実な遂行により、中長期的な企業価値の向上に努め、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

## 株主優待制度

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、年1回、株主優待制度を実施しております。

- 対象株主様 毎年5月20日現在の株主名簿に記録された1単位（100株）以上ご所有の株主様
- お申込み方法 同封の「株主優待のご案内」に添付された返信ハガキにて、8月末日までにお申込みください。
- 贈呈時期 株主優待カードは9月末頃お届け予定、その他は10月以降～12月頃までに順次発送予定  
※商品によって贈呈時期が異なります。
- 優待内容 A～Dの中からいずれかおひとつをご選択ください。  
なお、画像は優待品の一例です。所有株数によって内容が異なりますので、詳しくは同封しております株主優待のご案内をご確認ください。

### A 株主優待カード



クスリのアオキ各店他、当社グループ店舗でのお買上げの際、本カードのご提示により、お買上額から所定の割引が受けられます。

### B ノベルティカード



クスリのアオキ各店他、当社グループ店舗でご利用いただけるノベルティカードです。

### C Visaギフトカード



国内・海外1.3億店で使えるギフトカードです。クスリのアオキ各店でもご利用いただけます。

### D 地方名産品



創業1659年、金沢の料亭旅館「浅田屋」の料亭だしで炊き上げる季節の御飯の素の詰合せです。

またこの度、当社株式を保有していただいている株主の皆様へさらなる感謝の意を示すとともに、当社株式への投資魅力を高め、当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、2027年5月20日を基準日とする株主優待制度より、長期保有特典を新設することといたしました。（※本年度（2026年）の進呈はございません。）

## 株主メモ

事業年度 毎年5月21日から翌年5月20日まで  
定時株主総会 毎年8月20日までに開催  
定時株主総会の基準日 毎年5月20日  
期末配当の基準日 毎年5月20日  
中間配当の基準日 毎年11月20日  
公告方法 電子公告<<https://www.ir.kusuri-aoki-hd.co.jp>>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
お問合せ先 電話0120-782-031（フリーダイヤル）  
平日 9:00～17:00  
（土・日・祝日および12/31～1/3はご利用いただけません。）

## 株主総会会場ご案内

### 開催日時

2026年8月19日（水）

午前10時（受付開始 午前9時）

### 開催場所

石川県金沢市本町2-15-1

ホテル日航金沢 4階 鶴の間

TEL. 076-234-1111（代表）

公共交通機関をご利用ください。



公共交通機関  
でお越しの方

JR金沢駅兼六園口より徒歩3分

（※雨天の場合も地下道より濡れずにお越しいただけます。）



## ホームページのご案内

### ホームページのご案内

<https://www.kusuri-aoki-hd.co.jp> または

クスリのアオキホールディングス

検索

株主・投資家の皆様に、下記情報を含めた最新のニュース・トピックスを公開しております。

■財務ハイライト ■決算短信

■月次営業速報 ■IRスケジュール

### ネットショップはこちら

<https://shop.kusuri-aoki.co.jp/shop/>

